

はらういてい私

いしをいし私

物つとめていた協会が起動力のりはい
めたころ

私は知らずいさちい
うめさの甲の

人気がなうていい

とすうが午の年は一夏の会のみすりに

あると世恒祥がむうがてくる

いとしるに字書をとりと

又も大さめきで人がよつてくる

男性はいっしよにゆきをとりと

Eのしそりに恋人同然のボーズ

何れわかうきりうちい

私の仕事かすげうい
いといろこと

牛力とあう長たうしく

又おこやし会社の社長も私をほめあふ

人とのひとりの出来ごとん

人はそんなこともあつとふりがあつ

先日わたすけをしていいら

我成附林というう不出て来ん

アビ即芙蓉協会という所かうだ

そこからの仕事をしていこうと
ソール かなつたしのモッおし 手紙
の 講習

大手小学校へよつて4日

トラが 手紙も9 9 9

このあたりも 10 如出 11 12

少し先みかつかれたい 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

かつて9 家が家へ行つてみた

半島とて 果てが ああけす

台つかし9 地帯の 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

一巻

とにかく 一巻 柴命 15 16 17 18 19 20 私

2025
7/4